

毒キノコに注意



毎年、毒キノコを原因とする食中毒が発生しています

食用のキノコだと確実に判断できないキノコは、

絶対に

**採らない！ 食べない！
売らない！ 人にあげない！**

ツキヨタケ



中毒症状

食後30分-1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛等の中毒を起こす。

間違えやすい食用きのこ

- ・ヒラタケ
- ・ムキタケ
- ・シイタケ

テングタケ



中毒症状

食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸消化器の中毒症状が現れる。

神経系の中毒症状、瞳孔の収縮、発汗、めまい、痙攣等で、呼吸困難になる場合もあり、1日程度で回復するが、古くは死亡例もある。

クサウラベニタケ



中毒症状

食後20分-1時間程度で嘔吐、下痢、腹痛等の消化器系の中毒を起こす。唾液の分泌、瞳孔の収縮、発汗などの症状も現れる。

間違えやすい食用きのこ

- ・ウラベニホテイシメジ
- ・ホンシメジ
- ・ハタケシメジ

ニセクロハツ



中毒症状

食後30分-数時間程度で嘔吐、下痢等の胃腸、消化器系の中毒症状を示す。

その後18-24時間ほどで横紋筋溶解が原因と考えられる全身筋肉痛、呼吸困難を示し、死亡に至ることもある。

カエントケ



触れるだけでも
炎症を起こします。

食べると死亡する
場合もあります。

スギヒラタケ



古くから食用とされ
てきましたが、

食後、急性脳症のよ
うな症状を疑う事例
が発生しています。

✓ 気温の高い夏の後には適度な降雨があり、朝晩の気温が低下すると、多くのキノコが発生する可能性があります

⚠ キノコを食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を！

毒きのこの見分け方や安全な食べ方などについて
様々な誤解、誤った言い伝えがあります。

出典：消費者庁HP

誤解1 茎が縦に裂けるきのこは食べられる

本当は 毒キノコにも、茎が縦に裂けるものがあります。

誤解2 毒キノコは派手な色をしている

本当は 毒キノコにも、地味な色のものがあり、
食べられるきのこにも派手な色のものも
あります。



⚠ 国の原子力災害対策本部から、野生キノコの出荷制限の指示が出ている地域（御殿場市、小山町、裾野市、富士市、富士宮市）でのキノコ狩りは、自粛して頂きますようお願いいたします。